

巻頭特集



special feature
article

40周年記念事業に 江南市立 藤里小学校を訪問



江南市立
藤里小学校
が創立40周
年を迎えま
した。その
記念行事と
して昨年の

12月22日に開催された『ようこそ先輩 和田毅投手とふれあう会』には来賓、地域の方、保護者もたくさん参加し、さらに和田投手のご両親も列席されて子どもたちと一緒に楽しいひとときを過ごしました。その一部をご紹介します！

大きな夢に向かってNever give up!
文武両道の偉大なる先輩！

和田毅投手

(福岡ソフトバンクホークス)



質問に答える和田投手

和田毅投手へ 子どもからの 突撃インタビュー

実際に和田投手聞いてみたいことが、たくさん出されました。かわいらしい質問、素朴な質問、ユニークな質問など、子どもたちが自分の言葉で一生懸命発言する姿とても立派。そして、その一つ一つに和田投手がていねいに答えてくださって、子どもたちは満足そうな様子でした。また、逆に和田投手から質問されて子どもが答えたり、会場は多いに盛り上がりしました。

小学生の頃の 和田投手について

■小学生の頃好きだった科目、苦手だった科目とは。
好きなのは体育です。小学校時代、嫌いな教科はありませんでした。野球だけでなく勉強もしっかりがんばりました。

■好きだった食べ物、嫌いだった食べ物。
大好きだった給食の「三色ゼリー」は今でもあるでしょう。嫌いな食べ物は「らっきょう」。今でも食べて気分が悪くなったことがトラウマになっていて、らっきょうは苦手です。

■藤里小学校の頃抱いていた夢は。
今中投手にアコがれていて、プロ野球選手になって中日ドラゴンズに入りたいと思っていました。

■選手になっていろんな人に出会えることがうれしいです。

■ピッチャーをしています。どんな練習をしていたらいいでしょうか。
僕は小学校の頃はノーコンでした。フォアボールばかり出して怒られて、最後には「次にフォアボールを出したらアイスクリームなし」とか「ジュースぬき」とかいろいろモノでつられていました。(笑)でも僕は絶対練習してうまくなりたいという気持ちだけはずっと持っていました。

■普段はどんな練習をしていますか。
僕は今は走ってばかりなので、つい先日も3日間で100キロ走りました。とにかく走るということが一番だと思います。野球のシーズン中はだいたい午前11時から午後4時、午後6時から9時くらいまで練習をします。

■小学生の時に、恥ずかしかったことは。
2年生の時に担任の先生に向かって「お母さん」と呼んでしまったことです。(笑)

■どんな性格の子どもでしたか。
負けず嫌いでしたね。「絶対に負けないぞ」と思っていました。

■辛かったことは。
藤里小学校には小学校5年生まで通っていて、6年生で島根県に引っ越しましたが、そのことが一番辛かったですね。島根は放映されているテレビ番組が少なく、見たいテレビ番組が見れなかったです。(笑)中学校、高校時代は練習が辛い時もありました

■WBCに出場されましたがどんな気持ちでしたか？
世界はすごいなと思いました。

■和田投手の投げる球の速さと球種は。
一番速かったのは約145km/時ですね。球種は直球、カーブ、スライダー、フォーク、チェンジアップです。

■王監督はどんな人ですか？
王監督は本当に人格者で、弱いところや苦しいところは絶対見せず、人に愚痴を言わない素晴らしい人。そして常に野球人で背筋をピンと伸ばした姿勢は凄いです。

■福岡ソフトバンクホークスの目標は何ですか。
2008年は最下位になってしまったので、次は一生懸命練習をしていい結果を出したいです。そしてライバルはタイトルを獲得したピッチャー全員です。



和田投手からのサプライズ！！じゃんけんゲームで勝ち残った2名にグラブをプレゼント！

(左) 全校児童、声を合わせて校歌を歌う



和田投手とキャッチボールをしてもらった野村くんと呼称くん「和田投手の球は伸びがありました」



藤里小学校の歴史をふりかえる

今から40年前の1969年（昭和44年）に誕生した藤里小学校は、江南市においては2番目に新しい小学校。その当時、児童数は240名で今の約半分でスタートし、その後江南団地が完成して10年後には45クラス1876名と、児童数はピークを迎えた。その後全国の都道府県の木を植林した「郷土の森」が、平成2年に3階建ての木造遊具「タニベンチャー」が完成！

和田毅投手プロフィール

和田投手は現在、九州の福岡に本拠地を置いている福岡ソフトバンクホークスの投手。背番号は21番。和田投手は平成15年に入団し、その年14勝をあげ、新人王を獲得。さらに日本シリーズの最終戦で完投勝利し、日本一の胸上げ投手に！その後2003年のアジア大会、2004年のアテネオリンピック、2006年のWBC（ワールドベースボールクラシック）などで大活躍。左投左打だが、小学校時代から描画や文字は右手で書いていたらしい。和田投手は、野球のほかに、世界の子どものためにワクチンを支援する社会福祉活動も行っている。

取材を終えて

プロが語る「何でもいから好きなことを見つけて、それだけは誰にも負けないという気持ちでがんばってください」というメッセージは説得力があって、さわやかな和田投手の大ファンになりました。今後も目標に向かって努力し続ける和田投手を応援していきたいと思えます。

2 プライベートな質問

■尊敬する人は。
両親です。
■彼女はいますか。
結婚していて、娘も一人います。
■年収はいくら。
おおまかに日本の人口の2倍くらいです。(笑)
■今は何歳ですか。
27歳です。
(生年月日 1981年2月21日)
■好きな動物は。
犬です。猫アレルギーなんです。

3 野球に関する質問

■野球を始めたきっかけは。
父親と小さい時からキャッチボールをして遊んでいたんですが、江南少年野球団の練習に参加して「僕もやりたい」と、小学校1年生の時に入りました。

■プロ野球選手になった時の気持ちを教えてください。
うれしかったです。自分の大好きな野球ができて、ボールを投げられるということは幸せなことだと思います。それから、今日も藤里小学校の40周年記念行事のここに呼んでいただけましたし、プロ野球